

ひろしま神楽 定期公演 2026 7月29日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 会場内での**飲食は禁止**とさせていただきます。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様は舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方は、お子様が目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。
- (4) 客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
※ビデオカメラなどを使用しての動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用しての撮影は禁止どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

穴笠神楽団【三次市】

神楽団発足は、1984 (昭和59)年に三次市穴笠町の地元青年団が町興しの一環として、神楽を始めた事がきっかけとなります。高宮町「梶矢 (かじや) 神楽団」の指導の下、練習を重ね1987 (昭和62)年に地元の「天津 (あまつ) 神社」に初めて神楽を奉納し、熱い声援を受け1989 (平成元) 年に穴笠青年団から穴笠神楽同好会に名称変更し、週一回の練習を重ねながら、地域の敬老会などへの出演を続けてきました。

2001 (平成13)年に地元へのお礼として、休校となる穴笠分校での舞いが新聞に報じられ、穴笠町外からの加入希望者が少しずつ増え、2004 (平成16)年に穴笠神楽団へと名称を変更しました。

将門 (まさかど) の乱・明神山 (みょうじんざん) ・戸隠山 (とがくしやま) ・阿久利 (あぐり) 姫など、穴笠神楽団のオリジナル演目を加え、現在、団員20名で各地の秋祭り、各種イベントや共演大会などに出演させて頂いております。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

スマートフォン・携帯電話を使用しての動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS 等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用しての撮影
- 撮影された画像・動画の**営利目的での使用**および**2分以上の公開**



#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう！

ひろしま神楽の魅力を発信してください！！

滝夜叉姫 たきやしゅひめ

東の国の新皇を名乗った平将門 (たいらのまさかど) は、天慶 (てんぎょう) の乱で藤原秀郷 (ふじわらのひでさと) ・平貞盛 (たいらのさだもり) の軍に敗れます。

平将門の娘・五月姫 (さつきひめ) は、父の怨念を晴らすため、貴舟 (きふね) の社 (やしろ) に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・相馬 (そうま) の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀 (おおやのちゅうじょうみつくに) らは、姫征伐の勅命を受け、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術との激しい戦いの末、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、敗れ去っていくという物語です。

大	太	鼓	一	林	昌	志
小	太	鼓	一	渡	邊	幸彦
手	打	鉦	一	稲	垣	悠稀
	笛		一	稲	垣	智絵

大	宅	中	将	光	圀	一	池	上	龍	之	介
山	城	光	成	一	川	岡	優	希			
滝	夜	叉	姫	一	田	中	洗	之	郎		
夜	叉	丸	一	大	島	哲	也				
蜘蛛	丸	一	新	田	翔						

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成：一般財団法人地域創造



その半券
捨てないで!!!
**お得な
特典!**

「ひろしま神楽定期公演」の半券を
神楽門前湯治村に持っていくと
入浴施設・岩戸屋の
入浴料¥100割引
※2025年12月31日まで有効
神楽門前湯治村で観覧される
定期公演(大会を除く)の半券を
「ひろしま神楽定期公演」に
持っていくと
当日券入場料
¥100割引
※2025年12月31日まで有効

アンケートにご協力ください!

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後の参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力よろしくお願い申し上げます。



こちらから
ご回答ください